

麻酔科学への土台を北の大地で育ててみませんか？

札幌医科大学医学部麻酔科学講座にアクセスしていただいてもありがとうございます。当科は、開設して56年目を迎えた歴史ある教室です。山陰道明教授の下、新たな教室運営に取り組んでいます。

1. 質の高い麻酔医療の提供です。

それには、個々人が術前から術後までを麻酔管理として日々対応するのはもちろんのこと、何故？ということを中心に考えてもらい、フィードバックすることを大事にしています。それがひいては患者さんに満足いただける医療につながるからです。現在、多くの経験を積んだ専門医や指導医がおり、いろんな考え方を学ぶことができます。そのため、当科には研修医のための麻酔マニュアルはありますが、それは考え方であり、通り一遍の麻酔方法に決めるものではありません。硬膜外麻酔あり、末梢神経ブロックありと麻酔は何通りもあるのは至極当然であり、引出しを増やしてどんな状況下においても対応可能な麻酔科医を育てるべく、筋が通っていれば尊重する土壌が構築されています。

2. 世界に通じる麻酔科医の育成です。

それには、教育は外せません。4月から11月まで8か月に及ぶ勉強会を通じて基礎固めをして、知識を増やすことも怠りません。また、研究活動や学会発表を通じてプレゼンテーション能力を磨き、一步でも世界に近づけるように指導をしています。

仕事はもちろん大事ですが、北海道は食事も最高、気候も四季折々の風景を見ることが出来ます。この北の大地で専門医を目指してみませんか？

3. 全国から研修医が集まっています。

ホームページの研修医コーナーで、生き生きと活躍する全国から集まった研修医を紹介しています。

まずは大人気な180万都市、札幌まで見学に来てください。道外・道内問わず見学は無料です。まずは私、教室長 edanaka@sapmed.ac.jpまでお気軽に見学予約のメールください。

教室長 枝長充隆（えだなが みつたか）